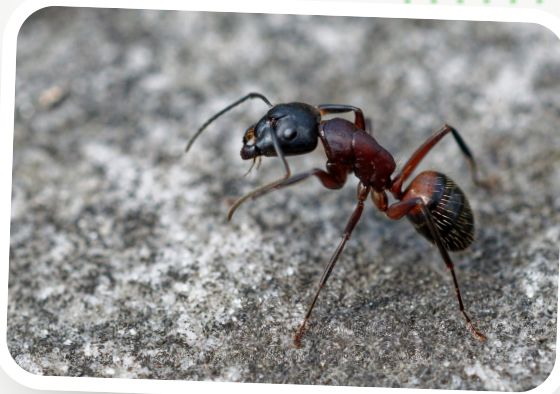


Camponotus ligniperda

(Latreille, 1802)

ヨーロッパ最大級のアリの一つで、つやのある赤と黒の大型種が、自分だけのゆったりした季節の時計に従って暮らしています。



写真：Donald Davesne, CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

20–25 °C

巣の中



巣の湿度

50–60 %

巣の中



休眠

5–8 °C

10月–3月



結婚飛行

5月–6月

暑い日、湿度が高い日



働きアリ

6–10 mm

大型働きアリは最大14 mm



女王

16–18 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ5,000匹規模

成長速度：普通



脱走リスク

中程度

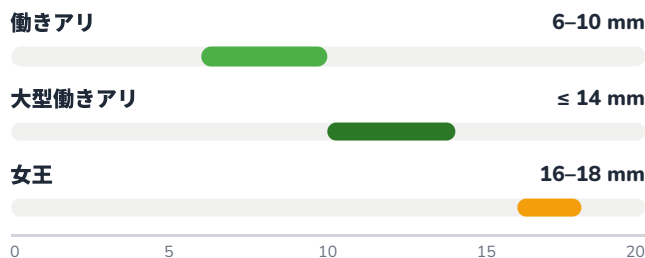
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. Ytongの巣
2. 木製の巣
3. 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

巣の乾いた部分のそばに、湿った部屋を用意しましょう。アリは卵や幼虫を湿った場所へ運び、完全に乾いたままの巣ではブルードの成長が遅くなります。

注意

コロニーを1年中暖かくしておかないでください。この種は体内の年周期に従っており、一定の加温は、シーズンを早く切り上げさせ、晩夏のうちに冬の休息に入らせてしまうことがあります。ブルードのための小さな暖かい隅があれば十分です。